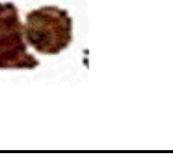


## 野菜の需給・価格動向レポート(平成26年12月1日版)

平成26年12月1日  
野菜需給部

### 1 主要野菜の生産出荷状況

種類	10月の価格情報		11月の価格情報		12月 平年価格	生育及び価格の12月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロック 別平均販売価 額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック別平均販売価額					
		下旬		上旬					
葉 茎 菜	キャベツ	74.19	50	66.30	50	56	66.3	・入荷見込量：12,200 (100) ・主産地：愛知 (50)、千葉 (30)、神奈川 (9)、茨城 (6)	・愛知産は、曇天が続いていることで根の張りが弱く、病害の発生もあり生育はあまり良いことから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。千葉産は、病害虫の発生もなく、生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見込み。
		88.91	55	69.92	50	55	69.92	・入荷見込量：3,700t (104) ・主産地：愛知 (59)、茨城 (9)	・千葉産の出荷が平年並みと見込まれるもの、愛知産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、価格は、平年並み若しくは平年をやや上回って推移する見込み。
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	218.22	184	218.22	182	192	218.22	・入荷見込数量：6,530 (103) ・主産地：千葉 (23)、埼玉 (20)、茨城 (17)、群馬 (13)、栃木 (8)、輸入 (2)	・千葉産は、天候に恵まれ生育は順調で、引き続き平年並み若しくは平年をやや上回った出荷の見込み。茨城県産は作付面積の増加に加え、天候に恵まれ生育は順調であるため、引き続き平年並み若しくは平年よりやや多めの出荷の見込み。埼玉県産は、現在平年並みの出荷であるが、生育は順調であり、今後は平年よりやや多めの出荷の見込み。
		444.77	498	444.77	421	397	444.77	・入荷見込数量：220t (105) ・主産地：奈良 (17)、徳島 (14)、群馬 (12)、高知 (12)、三重 (11)、香川 (10)、大阪 (8)	・千葉産、茨城産及び埼玉産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。
	はくさい	54.1	40	36.65	35	32	36.65	・入荷見込量：15,940t (105) ・主産地：茨城 (92)	・茨城産は、気温の低下により一部の場でみられた病害も落ち着き生育は順調であり、引き続き平年並みの出荷となる見込み。 ・茨城産がこれまでと同程度の出荷が見込まれることから、平年を下回って推移している価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		69.44	44	53.29	40	45	53.29	・入荷見込量5,500t (100) ・主産地：茨城 (23)、和歌山 (13)、熊本 (13)、愛知 (11)、宮崎 (10)、岡山 (8)、大分 (6)	
	ほうれんそう	350.1	468	350.10	405	377	350.1	・入荷見込量：1,480t (100) ・主産地：群馬 (41)、千葉 (17)、茨城 (16)、埼玉 (15)	・群馬産は、最近の曇天と気温低下に加え、2月の雪害の影響も残ることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。千葉産は、病害虫の発生も少なく生育は順調で品質も良好で、引き続き平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、生育は順調で、今後も引き続き平年並みの出荷の見込み。
		419.76	534	419.76	447	433	419.76	・入荷見込量：620t (116) ・主産地：徳島 (43)、福岡 (27)、群馬 (15)	・千葉産及び埼玉産の出荷が平年並みと見込まれるもの、群馬産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	レタス (結球)	158.27	93	136.79	94	95	233.85	・入荷見込量：7,000t (100) ・主産地：静岡 (27)、茨城 (17)、兵庫 (14)、香川 (10)、千葉 (5)、福岡 (5)	・静岡産は、台風の影響や最近の気温低下に伴い、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。兵庫産は、天候に恵まれ病害虫の発生もなく生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、出荷の終盤で切り上げがっている産地もあり、今後は出荷量は減少するものの、平年並みの出荷の見込み。
		152.57	104	147.25	115	110	226.75	・入荷見込量：1,180t (115) ・主産地：兵庫 (54)、徳島 (19)、香川 (10)	・茨城産及び兵庫産の出荷が平年並みと見込まれるもの、静岡産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在価格は上昇基調ではあるものの、12月以降は平年の価格水準が上がる時期となることもあり、平年並み若しくは平年をやや下回って推移する見込み。
	たまねぎ	76.15	72	76.15	72	72	76.15	・入荷見込量：10,960t (110) ・主産地：北海道 (88)、輸入 (5)	・北海道産は、現在は選別・調製を終えて倉庫に保管され、計画的な出荷が行われており、今後も引き続き平年をやや下回る出荷の見込み。 ・北海道産の計画的な出荷が見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き概ね平年並みに推移する見込み。
		76.15	75	76.15	74	76	76.15	・入荷見込量：3,900t (103) ・主産地：北海道 (67)、兵庫 (29)	
果 菜	きゅうり	262.75	313	262.75	318	370	370.98	・入荷見込量：4,700t (100) ・主産地：宮崎 (41)、千葉 (19)、高知 (17)、埼玉 (11)	・宮崎産は、10月の台風の影響で定植が遅れたことで、平年より少なめの出荷であるが、今後は、生育の遅れの回復に伴い、平年並みの出荷の見込み。千葉産は越冬物の出荷が始まり、現在は平年よりやや少なめであるが、生育は順調であり今後は平年並みの出荷の見込み。高知産は、天候に恵まれ病害虫の発生もないことから、生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見込み。
		284.72	309	284.72	303	353	350.33	・入荷見込量：1,050t (94) ・主産地：宮崎 (50)、高知 (25)、徳島 (10)	・宮崎産、千葉産及び埼玉産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、12月以降平年の価格水準が上がる時期となることもあり、平年並みに推移する見込み。
	トマト (大玉)	315.83	293	315.83	295	292	332.6	・入荷見込量：4,630t (102) ・主産地：熊本 (44)、愛知 (21)、千葉 (9)、静岡 (5)	・熊本産は、生育は概ね順調であるが、着果にバラツキがあることや小玉傾向であるため平年よりやや少なめの出荷の見込み。愛知産は、曇天の影響により花数不足や着果不良で平年より少なめの出荷の見込み。千葉産は、抑制物はほぼ終了し越冬物のみとなるため出荷量は減少するが、生育は順調であり、平年並み若しくは平年よりやや多めの出荷の見込み。
		337.88	320	337.88	310	305	311.06	・入荷見込量：970t (97) ・主産地：熊本 (72)、愛知 (10)、徳島 (6)	・千葉産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれるもの、熊本産、愛知産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、価格は12月以降平年の価格水準が上がる時期となることもあり、平年並み若しくは平年をやや下回って推移する見込み。
	なす	301.00	266	301.00	278	316	389.03	・入荷見込量：1,650t (100) ・主産地：高知 (61)、福岡 (20)、佐賀 (4)	・高知産は、天候に恵まれ着果もよく、病害の発生もないことから生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。福岡産は、定植後の天候に恵まれ病害虫の発生もなく、生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・高知産及び福岡産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、12月以降平年の価格水準が上がる時期となることもあり、平年並みに推移する見込み。
		263.21	281	263.21	310	359	397.74	・入荷見込量：330t (99) ・主産地：高知 (37)、熊本 (26)、福岡 (21)、岡山 (7)	
	ピーマン	263.58	296	344.39	337	296	344.39	・入荷見込量：1,530t (100) ・主産地：宮崎 (40)、茨城 (32)、高知 (15)、鹿児島 (12)	・茨城産は、天候が良好で生育は順調であるが、燃油高騰の影響から作付面積が減少しており、引き続き平年をやや下回る出荷の見込み。宮崎産は、天候に恵まれ生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産及び宮崎産の出荷が平年をやや下回る若しくは平年並みと見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
		282.16	277	353.61	308	270	353.61	・入荷見込量：300t (89) ・主産地：宮崎 (64)、高知 (23)、鹿児島 (10)	
根 菜	だいこん	64.33	59	64.33	50	49	64.33	・入荷見込量：14,490t (105) ・主産地：千葉 (48)、神奈川 (42)	・神奈川産は、天候に恵まれ病害虫の発生もないことから、生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、台風18号の被害を受けた一部の場で生育の遅れが見られるが、生育は概ね順調であり、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・千葉産及び神奈川産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
		76.48	72	76.48	63	60	76.48	・入荷見込量：3,800t (101) ・主産地：石川 (14)、長崎 (14)、和歌山 (12)、鹿児島 (10)、千葉 (9)、徳島 (8)	
	にんじん	123.08	75	100.82	74	84	100.82	・入荷見込量：8,980t (105) ・主産地：千葉 (80)、埼玉 (7)、茨城 (4)、輸入 (1)	・千葉産は、一部の地域で日照不足や乾燥による影響から生育に遅れが見られるが、生育は概ね順調であり、平年並みの出荷の見込み。埼玉産は適度な降雨もあり生育は順調であることに加え、作付面積もやや増加しているため、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。
		123.11	72	104.49	75	81	104.49	・入荷見込量：2,300t (107) ・主産地：長崎 (56)、鹿児島 (16)、鳥取 (13)、千葉 (7)	・千葉産及び埼玉産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。

種類	10月の価格情報		11月の価格情報		12月 平年価格	生育及び価格の12月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロック 旬別平均販売価 額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額					
	下旬	上旬	中旬						
いも	さといも 	200.88	236	200.88	222	216	200.88	・入荷見込量: 1,940t (105) ・主産地: 埼玉 (59)、千葉 (17)、栃木 (5)、輸入 (2)	・埼玉産は、生育は順調で大玉傾向となっており、引き続き平年より多めの出荷の見込み。 ・千葉産は、ほ場により生育にバラツキが見られ、大玉の発生が少ないことから引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。
		207.20	270	207.20	252	265	207.20	・入荷見込量: 404t (-) ・主産地: 愛媛 (42)、福井 (19)、宮崎 (11)、熊本 (9)、輸入 (8)、大分 (4)	・千葉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるもの、埼玉産の出荷が平年より多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
	ばれいしょ 	88.17	83	88.17	81	81	88.17	・入荷見込量: 8,430 (103) ・主産地: 北海道 (87)	・北海道産は、収穫は終了。産地によりばらつきはあるものの引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。
		88.17	78	88.17	76	77	88.17	・入荷見込量: 3,500t (98) ・主産地: 北海道 (87)、長崎 (13)	・北海道産の出荷が平年よりやや多めの出荷が見込まれることから、引き続き価格は、平年をやや下回って推移する見込み。

注: 1 平年価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で(消費税は除く。)保証基準額の算定の基となる価格。

2 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)。

3 単位は円/kg。上段は関東、下段は近畿ブロック。

4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもの大阪は前年実績。

5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。

6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

## 2 野菜の需要動向

家計調査によると、10月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、5,455gで前年比104%、購入金額は、1,973円で同じ102%となった。

また、小売物価統計によると、11月のキャベツの小売価格は、122円で過去5か年平均比75%、レタスは、321円で同じ76%となり、キャベツ、レタスとともに過去5か年平均を大幅に下回った。

### 生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成25年		平成26年	
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比
1月	4,252	1,595	4,243	1,669	4,379	103
2月	4,463	1,624	4,553	1,652	4,646	102
3月	4,836	1,772	4,961	1,769	4,958	100
4月	4,747	1,838	5,019	1,809	4,871	97
5月	5,103	1,902	5,257	1,861	5,146	98
6月	5,092	1,885	5,249	1,897	4,998	95
7月	4,423	1,712	4,456	1,783	4,542	102
8月	4,324	1,713	4,422	1,741	4,275	97
9月	4,768	1,803	4,577	1,863	4,745	104
10月	5,238	1,861	5,225	1,932	5,455	104
11月	4,993	1,671	4,852	1,806	0	0
12月	5,142	1,882	5,152	2,093	0	0

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

注: 過去5か年平均は、平成21~25年の平均。

### 主要野菜の小売価格(東京都区部)

	キャベツ		レタス			
	過去5か年 平均	平成26年	5か年比 (%)	過去5か年 平均	平成26年	5か年比 (%)
1月	198	267	135	673	684	102
2月	211	234	111	605	578	95
3月	200	200	100	498	459	92
4月	248	206	83	469	381	81
5月	169	175	104	371	351	95
6月	137	147	108	317	321	101
7月	153	171	112	322	358	111
8月	140	151	108	415	446	107
9月	149	228	153	506	871	172
10月	158	209	132	449	378	84
11月	162	122	75	421	321	76
12月	162	0	521	0	0	0

資料: 総務省「小売物価統計調査報告」

注: 1 過去5か年平均は、平成21~25年の平均。

2 平成26年11月の値は、11月中旬の速報値。

## 3 野菜の輸入動向

10月の野菜の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年同月比91%の6万5千トン、加工野菜は、同88%の13万6千トン、野菜全体は、同89%の20万2千トンとなつた。このうち中国産野菜合計は93%の11万9千トンとなつた。生鮮野菜、加工野菜とともに前年を下回ったことから、野菜全体においても前年をかなり大きく上回つた。

### 野菜の輸入数量

区分	平成24年		平成25年		平成26年1~10月		平成26年10月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比		
						生鮮野菜	加工野菜	
生鮮野菜	946,931	103	854,057	90	763,603	111	65,098	91
加工野菜	1,909,671	106	1,854,295	97	1,509,360	98	136,459	88
野菜合計	2,856,601	105	2,708,352	95	2,272,963	102	201,557	89
うち中国産野菜合計	1,458,418	103	1,415,901	97	1,172,227	103	119,040	93
中国産シェア	51		52		52		59	

資料: ベジ探(原資料) 財務省「貿易統計」

### 主な野菜の輸入数量

品目	輸入先	平成25年10月(A)	平成26年10月(B)	(B)/(A)
		合計	中国	米国
たまねぎ	合計	37,550	26,302	70
	中国	29,289	22,958	78
にんじん	合計	7,198	6,924	96
	中国	7,113	6,887	97
ねぎ	合計	35	36	104
	中国	4,989	4,947	99

資料: 農林水産省「植物防疫統計」注: 平成26年10月は速報値。

## 4 トピック